

2023年10月

# 白井なおこ レポート VOL.20

日野・生活者ネットワークニュース 白井なおこREPORT 発行日：2023年10月15日  
発行：日野・生活者ネットワーク 発行責任者：出沼恵美子  
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12 中央日石ビル4階  
TEL:042-514-8695 FAX:042-514-8697 E-mail:hino-net@cap.ocn.ne.jp



市制60周年ロゴマークがマンホールに！提案が叶いました。市内5ヶ所、どこにあるか見つけてくださいね！

## 認知症になっても、だいじょうぶ ～新しい認知症観を広めていこう！～



皆さんは認知症について、どのようなイメージをお持ちですか？65歳以上の5人に1人がなると言われる時代、若年性認知症も含め、自分事として備えていく必要があります。まずは知ること。認知症になっても、できることはたくさんあります。ケアする人も、自分らしく共に生きるまちを目指していくために、質問・提案しました。

### できることを支え「共に働く」

今年6月「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が制定されました。「認知症になったら、人生おしまい。何もできなくなる。迷惑をかける。」が古い認知症観だとするなら、「**認知症になっても、だいじょうぶ。できることはたくさんある。共に生きる。**」が新しい認知症観であると考えます。今はその重要な転換期です。

町田市では、認知症の方と共に竹林保全に取り組んでいる市民団体があります。日野市内にも里山保全や農業支援に取り組んでいる市民団体が活動しています。また、地域の助け合い事業(\*)もあります。**認知症の方も共に働く仕組み**をつくる、市民活動を支えていくことを求めました。

ごきんじょ  
※互近助サービス ちょこすけ ▶



### 応援するひとをまちに増やしていく

**認知症サポーター養成講座**を知っていますか？自治会など、団体への出張講座もありますので、一人でも多くの人に受講してもらいたいです。特に全中

学校での講座の開催、小学校では障害者差別解消推進条例の理念を広めていく福祉教育「ハートフル・プロジェクト」(認知症への理解も含む)の全校展開を求めたところ、教育長からは、重要な課題であるが、学校も手一杯であるとのことでした。何とか実現してほしいものです。

認知症サポーター養成講座 ▶



### ケアラー支援も車の両輪で

認知症当事者の人権を尊重していくと同時に、介護する家族等ケアラーの人権もまた尊重されねばなりません。虐待はあってはならないことですが、そこまでケアラーが追い詰められることのないよう、具体的な支援策を求めるとともに、その根拠となる**ケアラー支援条例**の制定を求めました。

副市長からは、共生社会を実現していくためのハートフルプロジェクトの重要性、市長からはケアラー支援の必要性について前向きな答弁がありました。

皆さんとともに、認知症の方を含めすべての人が包み込まれる、インクルーシブな社会の実現に向けて取り組んでいきます。

